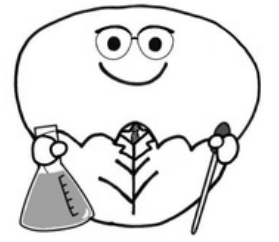


小松小学校 理科新聞



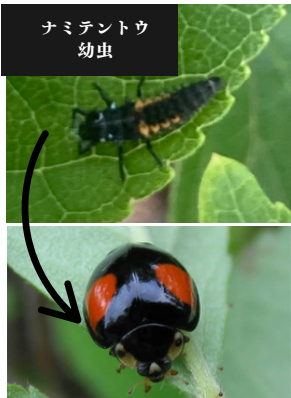
二十四節気

七十二候

小満（しょうまん）

麦秋至（むぎのときいたる）

2025.6.3

ナミテントウ
幼虫このフワフワ
動きます！
アオバハゴロモ
幼虫

葉っぱのうらをのぞくと

ホシアシブトハバチ
幼虫去年育てていた
ゴマダラチョウ

大人気！エノキの木には生物いっぱい

去年の今ごろ、理科室前の雑草かなと思っていた植物に、ゴマダラチョウが卵を産みつけているのを見つけて、育てていました。雑草かと思っていたのは『エノキ(榎)』の幼木(ようぼく)だと、後で分かりました。幼虫は角が生えたトナカイ？のようなかわいらしい姿で、土日は家に持ち帰って大事に育てました。ラインのプロフィール画像にってしまうほど、ゴマダラチョウに愛着を持つようになりました。

今年も卵を産んでいないかなと、理科室前のエノキは切られてしまったので、南門横のエノキの成木(せいぼく)の葉のうら側をのぞいてみると…

そこにはたくさんの生物がくらしていました！

アリ、小さな赤いクモ、小さな綿のような虫(アオバハゴロモの幼虫)、ナミテントウの成虫、サナギ、幼虫があちらこちらにいて、とてもにぎやかな様子でした。ギョッとしたのは、黄色くて黒の点々のたくさんついたイモムシが丸まって葉のうらにくっついていてのを見つけたとき。調べてみるとホシアシブトハバチの幼虫でした。成虫になっても、人は刺さないということだったので、理科室で育ててみようと思います。

ゴマダラチョウの卵は見つかりませんでした。エノキの木にはたくさんの生物がいるという発見がありました。エノキの葉、おいしいのかな？

バケツで稲作にチャレンジ！！
②播種(はしゅ)

水につけて5日ほど、ちょろんと根、芽が出てきた種もみを土に播(ま)きます。まくといっても、地面に直接バラバラとはまかずに、小さな場所に土を入れ、苗になるまでそこで育てます。今回やってみたのは、食品トレーを利用した水苗代(みずなわしろ)づくり。フォークなどでトレーに穴を空け、キッチンペーパーをしき、そこに土を入れます。小さなくぼみを作り(チョークでやりました)、そこに水から出して乾かした種もみをひと粒ずつ入れていきます。トレーの下にもう一つ水を入れたトレーを置き、重ねて、上にはふたをする意味でもう一つトレーをのせます。下のトレーの水がじわじわ土にしみて、常に土が湿った状態にします。苗が無事にできるでしょうか？



グッティーと兵庫県横断してきたよ



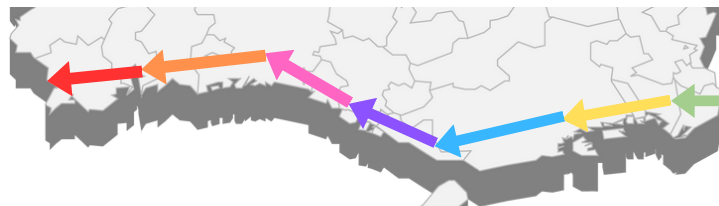
昨年度まで小松小にいた、グッティーこと原口正義先生。まだ小松小にいたときに「今、歩いて兵庫県横断(おうだん)にチャレンジして、ちょうど柏木さんのいる明石ぐらまできてん」ということを聞きました。どういうことかという、兵庫県と大阪府の県境(尼崎市)から、何回かに分けて岡山県との境(赤穂市)まで歩くというチャレンジで、尼崎→小松小→三宮→明石→加古川まで来ていたところだったそうです。(歩いて目標地点までいったら電車で帰る。次はまたそこまでは電車で帰って、その次の目標地点まで歩く)

おもしろそうだなと思い「次歩くときは誘ってください」とお願いして、今年の夏に加古川→姫路、姫路→相生(あいおい)と一緒に歩かせてもらいました。こうなったら、もう最後の相生→赤穂(あこう)も一緒に行くぞ、となっていた区間を日曜日に歩いてきました。

岡山県に入ったときは達成感がありました！そして歩いて分かったことがたくさんあります。まず「兵庫県って広い！」ということ。そして同じ兵庫県でも「場所によって全然様子がちがう」こと。「歩くと、その場所の自然や歴史を肌で感じられる」こと。

「田んぼの多い場所は少し涼しい」こと。帰りは「電車って便利だなあ」ということも。

柏木先生は残りの区間もまたどこかで歩こうと思います！



『？(ハテナ)のポスト』を設置しました。

前の理科新聞で、？(ふしぎやぎもん)を見つけたら教えてくださいと書きましたが、ふとした時に見つけた『？』は忘れてしまうことも多いので、メモをしてもらって、お手紙のように出してもらおうと考えました。『？』を入れるポストを理科室前に設置しました。お便りお待ちしております！

※チームスでも配信中